

OPEN: ウイングアーク1st

チームの方へのコメントをお願いします！

コンペのプレゼンを聞いていました。感じでした。すこがった！

スライドが見やすかったです。皆さんの顔が伺えて、チームワークを感じました。

プレゼンは一番元気よくわかりやすかったと思いました。

今日はシフトレフト的なお話だったと思うので、シフトライト的なお話もあったらいいなと感じました。

「リリースのスピード感を大切にする」とのことでしたので、例えば「自動テストのしやすさ」を意識したテスト設計があったのかどうかが気になります。

【回答】テストタイプによっては自動テストが容易に組めるものもあります。例えばUI/バリデーションテストはAPIで自動テストしたり、セキュリティテスト等はツールによる自動テストができます。

またハッピーパスを考慮した機能完全性レベルのテストはE2Eテストとして自動化します。これらはすべて自動化しているので、リグレッションテストとして使えます。

私もアジャイル評価実施しているので、参考になりました。

さすがウイングアーク！と思わせるプレゼンでした。

アジャイルをうまくFitさせて効果的に感じました

[回答]ノートフローはあまり具体的には説明できませんが、ユーザーからのFBを基にテストができればよいレベルです。FBがそもそも製品の弱点なのであれば品質の重み付けを変えるべきですし、可観測性が必要であれば製品にログ等を仕込む必要があると思います。

前のフェーズの修正に対するリグレッションテストの割合が多くなっていき、最後のフェーズではリグレッションテストが肥大化する一方で、PBIも下位しか残っていないため、最後までテストをやり切れるのか？と疑問に思いました。

【回答】おっしゃる通りテストベースは既に開発されたものになります。テストフェーズを完了しリリースする出荷可能製品は、未検証部分があるので、そこはプロダクトリスクとしてとらえています。

仮説検証的にユーザからのフィードバックを活かすようなテストタイプはあるのでしょうか？

【回答】予めユーザーからのFB用にテストタイプを作成してはいません。FBを受けてから既存のテストタイプに落とし込むか、必要であれば新たに作成するイメージになります。

プレゼンがとてもわかりやすかったです。聴いてよかったです。

アジャイルでテストしているので、リグレッションテストをどう考えているか気になりました。

開発はアジャイルではなさそうだったので、テストのフェーズとリリースされているものとの関係が気になりました。

[回答]自動化できるテストは全てフェーズ内で自動化します。スクラムでテスト実行しているので、スプリント毎に自動化されたリグレッションテストを実行するイメージになっています。

流れが分かりやすい絵が多く、楽しく聞けました。

使い方

コメントはこのような付箋で張ってください。否定的なコメントだけでなく肯定的なコメントをお願いいたします。

シートが付箋で沢山になりましたら上の下記を押してページを作成してください



⇒



「段階的にリリースするうえでテストする」という文脈がありました。途中段階でのリリース時点で開発物はリリース済だがテストは行えてないものが出てくるのかな？というのが気になりました。

【回答】はい。未検証部分もあり段階的リリースしています。ただ、未検証部分はリスクとしてとらえて、次のフェーズ以降で検証する計画にしており、計画的制限事項の扱いとしてオープンにします。